

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
渡辺洋一郎 (60分間)	1 安心して子育てができるまちづくりについて	<p>町は第5期芽室町総合計画後期実施計画において、前期計画の検証を基に、子育て支援に係る政策の継続と充実を目指し、取り組むこととしています。</p> <p>また、例年行っている「まちづくりに関する住民意識調査」では「本町は安心して子育てができる環境である。」と9割近くの町民が評価している実績となっています。</p> <p>そこで、今後、いっそう期待される本町の子育て政策の展開として、本町の背景を踏まえた個性と特長の発揮、他自治体との差別化による事業の推進、安定的な支援・保障の実施の観点から、以下3点について、町長の見解を伺います。</p> <p>① 子育て世代に対する情報の発信について、町はこれまでの間、複数の手法や手段を活用し、きめ細かな対応に努めていますが、情報発信及び情報共有に係る現状の評価と今後の展望について伺います。</p> <p>② 児童虐待対応件数は全国的に増加傾向にあり、未然防止、養育上の課題の早期発見・早期対応の強化が求められています。本町における児童虐待対応件数の実績及び未然防止策の現状、関係機関等との連携における現状と課題及び今後の展望について伺います。</p> <p>③ 疾病の早期発見・治療、子育て世帯の経済的負担軽減を図るためのこども医療費給付事業及びひとり親家庭等医療費給付事業における対象拡大について、これまでの検証と今後の展望を伺います。</p>	町長
中田智恵子 (60分間)	1 がん対策推進とがん患者に寄り添う支援について	<p>平成18(2006)年のがん対策基本法制定後、16年を経た今日、がん医療拠点病院の整備、放射線治療や緩和ケアの普及、検診受診率の向上等、全国各地で様々な成果が上がっています。</p> <p>令和3(2021)年、国は「がん10年生存率」は緩やかに改善傾向が続いている調査結果を公表し、これにより、この事業成果を一定評価する一方、生存期間が延びる患者に対する「緩和ケア」として、身体的・精神的苦痛のほか、休職、辞職といった社会的苦痛など、「がん対策推進基本計画」に掲げられている、がんとの共生をいかに進めていくかが、今後の新たな重要な課題と考えます。</p> <p>国は、がん検診受診率の目標を50%に定め、目標達成に向けた方策に取り組んでいることから、本町もいっそうの各種がん対策に取り組むべきと考え、次の3点について見解を伺います。</p> <p>① 第4期芽室町健康づくり計画に基づくがん対策の成果と今後の取組みについて</p> <p>② 身体的・精神的苦痛の緩和策となる個人等への助成制度の創設について</p> <p>③ がん患者が日常生活を支障なく過ごせるための公共施設等への環境整備について</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
堀切 忠 (45分間)	1 新型コロナウイルス感染症に係る施策の検証と今後の対策について	<p>全国では、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波で、新規感染者が拡大し、死者も過去最多を更新する勢いで増え続けています。芽室町でも7月から新規感染者が急増し、7月中旬から毎週3桁の新規感染者が確認され、今年1月からの新規感染者数は2000人を超えました。無症状・軽症の方は、ほとんどが自宅療養とされ、不安を抱えながら療養生を送っています。</p> <p>町民の生命や暮らしを守る対策は、迅速かつ適時、的確に行うことが重要と考えることから、以下3点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策について、町として、これまでの取り組みをどのように検証され、今後に向けて、どのような事項が課題及び改善策と考えているのか、見解を伺います。</p> <p>② 感染症の状況が長期化する中、町民及び事業者の中には、日常の健康管理対策を自費で負担していることから、経費の負担軽減を求める声があります。また、福祉施設、保育所、学校等の感染拡大を未然に防ぐために、検査キットの配布や検査費用の助成も対策のひとつと考えますが、町長の見解を伺います。</p> <p>③ 自宅療養者へのケアとして、保健所だけでは対応に限界がある事象も発生しています。町として、関係機関等と協議・連携するなどし、自宅療養者への独自の支援体制（相談・サポート）構築に向けた取組が必要と考えますが、町長の考えを伺います。</p>	町長
梶澤幸治 (60分間)	1 選挙公約の実現について	<p>町長は2期目の選挙戦にあたり、「対話・信頼・行動で次代へ輝き続けるまち めむろ」を基本理念に、第5期芽室町総合計画との整合性を踏まえ、農業や医療福祉、教育など幅広い分野を網羅した7つの柱、66の公約を掲げ当選されました。現在、未曾有の事態となっている新型コロナウイルス感染症対策、産業、経済への今後の対応をはじめ、未来を担うひとづくりと子育て支援、保健・医療・福祉の基盤整備、災害に強いまちづくりなど公約実現に向けた取り組みが急務となっていることから、以下4点について基本的な考え方を伺う。</p> <p>① 基幹産業の農業を中心とした産業、経済が発展・循環するまちづくりを持続するためには、まず農業現場における課題解決が不可欠と考えるが、主たる課題とその解決策について、町長の見解を伺う。</p> <p>② 公約にある「農業DX（デジタル変革）構想」の実現とあるが現状、課題、構想の実現に向けた展望について、町長の見解を伺う。</p> <p>③ 「安全安心のまち、生活環境整備、ゼロカーボン」を公約の7つの柱の一つに新しく掲げられた。「芽室町地球温暖化防止実行計画」の策定をどのような考え方で進めて行くのか、現状、課題、構想の実現に向けた展望について、町長の見解を伺う。</p> <p>④ 「公共施設への再生エネルギー導入計画確立」について、主たる課題と目指す成果について、町長の見解を伺う。</p>	町長